

2020年8月7日
野村アセットマネジメント株式会社

2020年責任投資原則（PRI）年次評価について

野村アセットマネジメント株式会社は、責任投資原則（以下「PRI」）による2020年の年次評価（評価期間：2019年4月～2020年3月）において、報告を行ったすべての項目で最高評価の「A+」を獲得いたしましたのでお知らせいたします。

PRI 年次評価結果		
	FY2019- 2020	PRI 中央値評価
戦略とガバナンス	A+ (→)	A
上場株式における責任投資の統合状況	A+ (↑)	A
上場株式におけるアクティブオーナーシップ	A+ (→)	B
エンゲージメント	A+ (→)	
議決権行使	A+ (↑)	
債券投資（国債等）	A+ (↑)	B
債券投資（社債/金融）	A+ (↑)	B
債券投資（社債/非金融）	A+ (↑)	B

※括弧内は昨年からの変化を示しています。

責任投資原則（Principles for Responsible Investment、PRI）とは、2006年に国連が提唱した6つの原則です。原則では、環境（E：Environment）、社会（S：Social）、企業統治（G：Governance）の課題を投資の意思決定に取り込むことが提唱されています。当社は、PRIの基本的な考え方に賛同し、2011年3月1日に署名会社となりました。

PRIの年次評価とは、PRIが各署名会社を対象に、責任投資の実施状況を年次で評価したものです。評価結果は「A+」から「E」までの6段階に分かれており、「A+」がグローバルの最高評価となっています。

今回、「上場株式における責任投資の統合状況」「議決権行使」「債券投資」が最高評価である「A+」を獲得できた背景には、債券を含めたESGインテグレーション、エンゲージメントの継続的な発展、議決権行使プロセスの高度化などがあったと考えています。

野村アセットマネジメントは、引き続き、責任ある機関投資家として、お客様の資産形成に貢献し、持続可能で豊かな社会の実現を目指していきます。